method

ショップのバイイング・ディレクション業務を手がける「method」より
2014年12月-2015年2月の最新のお知らせ

本と物の店

method 監修・コーディネート

「本と物の店」期間限定オープン

商業施設「湘南T-SITE」オープン記念フェアにて

2014年12月12日（金）-2015年2月28日（土）

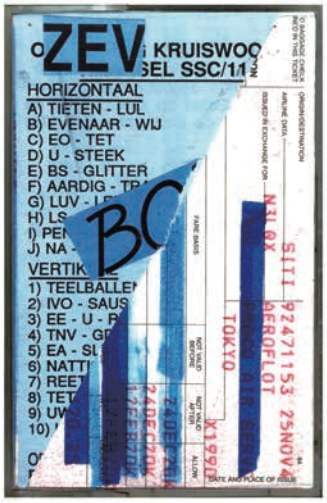
---

method監修による単位コンセプトショップ

「Measuring shop」オープン

21_21 DESIGN SIGHT 企画展「単位展 -- あれくらい それくらい どれくらい？」

2015年2月20日（金）-5月31日（日）



methodのギャラリー (PLACE) by method で開催される企画展

伊藤桂司×小町渉 展/Keiji Ito × Wataru Komachi Exhibition

伊藤桂司と小町渉 初の組み合わせによる2人展

2015年1月9日（金）- 2月28日（土）

©KEIJI ITO & WATARU KOMACHI

---

method 監修・コーディネート
「本と物の店」期間限定オープン

商業施設「湘南T-SITE」オープン記念フェアにて
2014年12月12日（金）-2015年2月28日（土）

本と物の店

湘南T-SITEオープンに伴い、2014年12月12日（金）から2015年2月28日（土）までの約3ヶ月間、 商業施設「湘南T-SITE」内、湘南 蔦屋書店2号館1階の店舗スペースに、methodが監修・コーディネイトする「本と物の店」が期間限定オープンします。

本企画の命名 及び 題字は、ミナ ペルホネン代表 皆川明氏によるものです。
そして、本企画への出店者は自著を出版されており、ホンモノにこだわって仕事をされてきた方々。
生活雑貨店やギャラリー、ライフスタイルショップの店主、生活工芸作家、建築家、デザイナー、雑誌編集長、
バイヤー、スタイリスト等、それぞれが影響や刺激を受けた「本」と、オススメの「物」を、展示・販売します。

来春、本企画の終了後には、同スペースにミナ ペルホネンの出店が予定されています。

「本と物の店」開催概要

名　　称：　本と物の店
会　　期：　第1部. 2015年12月12日（金）ー2015年1月12日（月・祝）※ 2015年1月14日（水）より、第2部スタート。
営業時間：　10:00 – 21:00 年中無休 ※ 2015年1月13日（火）はメンテナンスの為、お休みさせて頂きます。
会　　場：　湘南T-SITE 2号館1階／神奈川県藤沢市辻堂元町6-20-1
出 店 者：　第1部. Early Birds／神林千夏, 石巻工房／芦沢啓治, ギャルリ百草／安藤雅信・安藤明子, くるみの木／石村由起子,
d design travel／ナガオカケンメイ, Playmountain／中原慎一郎, ほぼ日刊イトイ新聞／糸井重里,
mina perhonen／皆川明, method／山田遊　※50音順
主　　催：　湘南 蔦屋書店／カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
企　　画：　石村由起子（くるみの木 店主）
店　　名：　皆川明（mina perhonenデザイナー）
会場構成：　株式会社トラフ建築設計事務所
監修・コーディネート：山田遊（methodバイヤー）

湘南T-SITE

代官山 蔦屋書店を運営する「カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社（以下CCC）」が、2014年12月、湘南 蔦屋書店を中心とした商業施設「湘南T-SITE」をオープンいたします。
神奈川県藤沢市、元パナソニックの家電工場跡地に誕生する、約1000世帯の家族が住まう街「Fujisawaサスティナブル・スマートタウン」の中心に位置する「湘南T-SITE」は、延べ床面積が約7,400平方メートル、全3棟により構成され、「蔦屋書店」を核に、レストランやカフェ、生活雑貨店など複数テナントが出店。「本屋が企画したスローフードのショッピングモール」をコンセプトに、「食」と「家族」と「地域」をつなぐ、新しい商業施設を目指しています。

method監修による単位コンセプトショップ
「Measuring shop」オープン

21_21 DESIGN SIGHT 企画展「単位展 -- あれくらい それくらい どれくらい？」にて
2015年2月20日（金）-5月31日（日）

六本木「21_21 DESIGN SIGHT」で2015年2月20日より開催される「単位展」にあわせて、 method監修による単位コンセプトショップ「Measuring shop」が、会場1Fスペースにオープンいたします。
量り売りを中心に、単位にまつわるショップとして無料開放。色んなものを量って単位を体感しましょう。

企画展「単位展 -- あれくらい それくらい どれくらい？」

21_21 DESIGN SIGHTでは2015年2月20日より、企画展「単位展 -- あれくらい それくらい どれくらい？」を開催します。
空気、水、モノ、光、音、自然環境――そのままでは捉えにくい世界に一定の基準を設けることによって比較や共有を可能にした知恵と思考の道具。それが「単位」です。長さを測るメートル、重さを量るグラム、時間を計る秒など、私たちの身の回りには様々な単位があり、生活するうえで欠かせないものとなっています。身近にあるデザインも数々の単位の掛け合わせによって生まれています。世界の共通言語のように誰でも使える単位がある一方で、それぞれの社会や風土に根ざした独自のものもあります。たとえば日本なら畳のサイズや坪数など、今でも暮らしに深く根づいている尺貫法。イギリスではごく最近まで距離をヤードによって定めていました。通貨の単位も国によって様々です。近年ではピクセルやバイトなど、新しい単位も生まれています。
また、建築、プロダクト、印刷やパッケージなどの製品を開発するためには設計、製作、流通、販売にいたるまで、ありとあらゆるものづくりの過程において様々な単位が用いられます。この単位を通して、私たちは思い描いたイメージを共有し、形づくっていくことができます。
このような単位をテーマとした本展は、多種多様なモノやコトの中にどのような単位があるのかを知り、実感することによって、モノがつくられたプロセスやデザインに対する考え方、さらには単位が生み出された文化や社会背景を見つめるきっかけとなるでしょう。
単位で遊ぶと世界は楽しくなる。単位を知るとデザインはもっと面白くなる。
単位というフィルターを通して、私たちが普段何気なく過ごしている日常の見方を変え、新たな気づきと 創造性をもたらす展覧会です。

タイトル：企画展「単位展 -- あれくらい それくらい どれくらい？」 http://www.2121designsight.jp/program/measuring/
会期：2015年2月20日（金）- 5月31日（日）休館日：火曜日（5月5日は開館）
開館時間：11:00 - 20:00（入場は19:30まで）
入場料：一般1,000円、大学生800円、中高生500円、小学生以下無料
住所：東京都港区赤坂9-7-6　東京ミッドタウン・ガーデン内

21_21 DESIGN SIGHTディレクター：三宅一生、佐藤 卓、深澤直人、　同アソシエイトディレクター：川上 典李子
主催：21_21 DESIGN SIGHT、公益財団法人 三宅一生デザイン文化財団
企画：中村至男/展覧会グラフィック、鈴野浩一（トラフ建築設計事務所）/会場構成監修、稲本喜則（AXIS）/テキスト、
　　岡本 健/会場グラフィック、菅 俊一/コンセプトリサーチ、寺山紀彦（studio note）/展示構成
学術協力：星田直彦　　会場構成協力：五十嵐瑠衣　　ショップ監修：山田 遊　　企画進行：前村達也（21_21 DESIGN SIGHT）

※上記内容は予告なしに変更される場合があります。

methodのギャラリー (PLACE) by method で開催される企画展

伊藤桂司 x 小町渉 展 /Keiji Ito x Wataru Komachi Exhibition

伊藤桂司と小町渉 初の組み合わせによる2人展
2015年1月9日（金）- 2月28日（土）

©KEIJI ITO & WATARU KOMACHI

2015年1月9日より2月28日まで、methodが運営するギャラリー「 (PLACE) by method」にて、アーティスト、伊藤桂司と小町渉 初の組み合わせによる 2 人展が開催されます。

本展示はカセットテープに伊藤、小町がコラージュを施すコラボレーションコラージュカセットを中心に構成し、それぞれによる新作作品、共作によるキャンバス作品で構成されます。
ノスタルジー溢れるカセットテープは今や忘れ去られしメディアとなりつつあります。
カセットテープを両者アーティストにより往復書簡の方法で コラボレーションコラージュカセットを多数制作しました。
デジタル社会とは異なるアナログな手法／方法によるそれらの作品は現代人が忘れかけているデジタルでは再現出来ない人間本来の持つ「動物的な手触りや感覚」を呼び起こさせる事と思います。

また、今展示にあわせ、ERECT Magazineより、 伊藤桂司、小町渉、共著によるZINE が発売されます。

展示概要
タイトル : 伊藤桂司 x 小町渉 展/ Keiji Ito x Wataru Komachi Exhibition
開催期間 : 2015 年 1 月9 日-2 月28 日
会場 : (PLACE) by method
150-0011 東京都渋谷区東1-3-1 カミニート14号 http://wearemethod.com/

伊藤桂司 x 小町渉 展 アーティストプロフィール

伊藤桂司

UFG（Unidentified Flying Graphics）Inc. 代表。京都造形芸術大学教授。
1958年東京都出身。
広告、書籍、音楽関係のアートディレクション、グラフィックワーク、映像等を中心に幅広く活動する。
・雑誌のカバーアート「SWITCH」「BRUTUS」「流行通信」「casaBRUTUS」「relax」「Cut」等
・雑誌のグラフィックワーク「Esquire」「Studio Voice」「GQ」等
・海外雑誌 のグラフィックワーク「SURFACE」「GANZFELD」「FIDGET」「ZOO」「Black Book」「Loyal」 等
・CD ジャケットやビデオクリップなど音楽関係のアートワーク
「PES from RIPSLYME」「スチャダラパー」「ohana」「クラムボン」「東京ザヴィヌルバッハ」「テイ・トウワ」
「バッファロー・ドーター」「キリンジ」「野宮真貴」「一青窈」「ボニー・ピンク」「オレンジ・ペコー」「ELT」「山弦」
「宇多田ヒカル」「竹村延和」「井上陽水＋奥田民生」「福岡ユタカ」「Keal'l Reichel」 等
・NHK 教育テレビ番組のセットデザイン、タイトル映像
・ブルックリンパーラー博多の店内壁画
・愛知万博EXPO2005 世界公式ポスターのアートワーク
・イギリスのクラヴェンデール･キャンペーンヴィジュアル
その他多数の作品を手掛ける。

受賞歴
・1998年　メリット・アワード
・1999年　ニューヨークADC ゴールド・アワード
・2000年　メリット・アワード
・2001年　コンバース・キャンペーン広告のアートワークにより東京ADC賞を受賞

作品集
『MOTORWAY』『FUTURE DAYS』（共に青心社）
『ROOM-GRASS-FOREST』（京都造形芸術大学）
『SUNSHINE GIRL MEETS GRAVITY BOY』（UFB）
『SUPERNATURAL』（ArtJam Contemporary）
『LA SUPER GRANDE』（ERECT LAB.）
など他多数。

小町渉

アーティスト。東京都出身
作品が米俳優映画監督(DENNIS HOPPER / デニス.ホッパー氏)のコレクション作品となり、それを機に本格的にアート活動を開始する。以降パリを中心に活動。 アート/グラフィック/プロダクト/写真等 多岐に渡る表現活動により生み出される作品は時事性に富みウィット溢れる作品として高く評価されている。

パリの活動
・アパレルブランド (CHRISTOPHE LEMAIRE / クリストフ.ルメール*現Hermèsディレクター) とのコラボレーション
・セレクトショップ (Colette /コレット) 展示
・フランス老舗デパート (Le Bon Marché Rive Gauche Department / ル.ボンマルシェ.リーブ.ゴーシュ)にてカール・ラガーフェルド 等参加したファッション＆アートの展示 " exposition collections particulieres展" に参加
・米ミュージシャン (BECK / ベック) "ヨーロッパツアーオフィシャルT-Shirts" デザイン制作

など、これらの活動により欧米で高い評価を得る。

国内の活動
・2008年 (松屋銀座) との大規模コラボレーション、 "Wataru Komachi x Matsuya Ginza /ギンザリミックス"
・2009年 日本メンズファッション協会MFU 第6回" ベストデビュタント賞 " 受賞
・2010年 (ALFRED DUNHILL / アルフレッドダンヒル) "Dunhill Local Artist Collaboration" 日本アーティストに選出される
・2012年 (COACH / コーチ) 主催チャリティプロジェクト" Tastemaker Duffle Project " に参加

受賞歴
・2009年　日本メンズファッション協会MFU 第6回ベストデビュタント賞 受賞
・2005年　DESIGNTIDE 第1回 BEST TOKYO DESIGN 受賞

method | メソッド

デザイン、ファッション、アート、工芸、食など、一切のジャンルを問わず、より自由な見地から、あらゆる分野で産み出されるモノに対しての「潤滑油」としての役割を果たすべく、店づくりを中心に、日々、様々な仕事をてがけ、代表 山田遊のもと、ショップのバイイングやディレクションを手掛けています。
methodなりの視点や言葉、また、その結果としての行動と表現を介することで、モノの作り手や売り手、さらには受け手との狭間で媒介となり、良きモノが持続して作られ、また、より良きモノが新たに産み出されていく。
そんな状況が実現することを夢見て、まずは、身の周りから、現状を更新することに対して情熱を注ぎ、結果、より成熟した社会が成立していくことを、理想として掲げています。

山田遊（バイヤー、監修者）

東京都出身。
南青山のIDEE SHOPのバイヤーを経て、2007年、method（メソッド）を立ち上げ、フリーランスのバイヤーとして活動を始める。現在、株式会社メソッド代表取締役。2013年「別冊Discover Japan 暮らしの専門店」/エイ出版社、2014年「デザインとセンスで売れる ショップ成功のメソッド」/誠文堂新光社 が発売される。グッドデザイン賞審査委員をはじめ、各種コンペティションの審査員や、京都精華大学非常勤講師など、教育機関や産地などでの講義・講演など、多岐に渡り活動中。

活動内容一例

ショップディレクション、バイヤー、VMD業務
国立新美術館内ミュージアムショップ「SOUVENIR FROM TOKYO BY CIBONE」
東京発のセレクトショップ「Tokyo's Tokyo」羽田空港、原宿
新しいリサイクルショップ「PASS THE BATON」、etc.

イベント関連
燕三条地域の工場を開放するイベント「燕三条 工場の祭典」全体監修
SHOWCASE（主催3社のうちの1社）、etc.

プロダクト開発、監修
東京タワー オリジナルグッズ
花火のセレクトショップ「fireworks」、 etc.

贈呈品セレクト
APEC 2010（アジア太平洋経済協力会議）、IMF（国際通貨基金）・WB（世界銀行）年次総会2012、 etc.

methodが運営するギャラリースペース　(PLACE) by method

ファッションの展示会や受注会、クリエイターの展覧会会場として、ご活用いただいています。
貸し出し等につきましては、個別にお問い合わせ下さい。

General Contact :　method inc.　150-0011東京都渋谷区東1-3-1 カミニート14号
Tel : 03-6427-9296　Fax : 03-6427-9297　mail : info@wearemethod.com
method Press Support :　HOW INC.
Tel : 03-5414-6405　Fax : 03-5414-6406　mail : info@how-pr.co.jp